

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 富士通株式会社
 コード番号 6702 URL <http://jp.fujitsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 大 名

(氏名) 野副 州旦

(氏名) 山田 悦朗

TEL 03-6252-2175

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,044,303	△11.3	△37,163	—	△39,878	—	△29,199	—
21年3月期第1四半期	1,177,279	—	5,812	—	8,413	—	344	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△14.23	—
21年3月期第1四半期	0.17	0.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,305,709	898,262	21.9	357.52
21年3月期	3,221,982	925,602	23.2	362.30

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 723,282百万円 21年3月期 748,941百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	2,210,000	△9.9	△35,000	—	△45,000	—	△55,000	—	△26.80
連結累計期間	4,820,000	2.7	90,000	30.9	70,000	365.1	25,000	—	12.14
通期	4,820,000	2.7	90,000	30.9	70,000	365.1	25,000	—	12.14

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 Fujitsu Technology Solutions(Holding) B.V.) 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、20ページ「定性的情報・財務諸表等 4.その他」を参照して下さい。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	2,070,018,213株	21年3月期	2,070,018,213株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	46,966,633株	21年3月期	2,822,889株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	2,052,327,643株	21年3月期第1四半期	2,068,868,286株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ・主要市場における景気動向(特に日本、北米、欧州、中国を含むアジア)
- ・ハイテク市場における変動性(特に半導体、パソコンなど)
- ・為替動向、金利変動
- ・資本市場の動向
- ・価格競争の激化
- ・技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・部品調達環境の変化
- ・提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・不採算プロジェクト発生の可能性
- ・会計方針の変更

業績予想の前提となる条件等については、15～20ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」を参照して下さい。

(1株当たり予想当期純利益についてのご注意)

平成22年3月期の1株当たり予想当期純利益は、8月実施予定の株式交換による株式会社富士通ビジネスシステムの完全子会社化において、自己株式を割当交付する影響を考慮して算出しております。